

今年も変わらない想い

患者さんの支えになりたい

私たち自身も支えあいながら



下関市豊浦町



当院イメージキャラクター
なこちゃん

2018年7月 建替えにより新病院開院



社会福祉法人 豊浦 済生会支部 山口県済生会豊浦病院

所在地：山口県下関市豊浦町大字小串7-3（本州西端の海沿いに位置します。背景の写真は院内から見える海景色です。）
病床数：275床（一般病棟189床【内地域包括ケア病棟45床】、療養病棟 86床）
看護職員数：168名

- 一、安全・安楽・満足な看護を提供します。
- 一、しっかりと向かい合い、その人らしさを尊重する看護を実践します。
- 一、笑顔で明るくはつらつと行動します。

この看護部理念のもとで魅力ある職場を目指します。看護部長 村上道子

CONTENTS

- 2 新年のご挨拶 会長
- 3 今年の願 猪年の抱負
- 4 トピックス 災害活動について
- 5 委員会活動 広報委員会
認定看護管理者教育運営委員会
- 6~7 選挙についてのお知らせ
- 7 第18回 山口県看護研究学会開催
- 7 入会のおすすめ
- 8~9 支部メール 防府支部・宇部支部・萩支部
- 9 支部Information
- 10~11 看護職員認知症対応力向上実態報告
- 12 医療安全情報 No.40
- 13 やまぐちナースセンターだより No.127
- 14 ひたむきな保健師 Vol.33
- 15 看護学校紹介
山口県実習指導者養成講習会を受講して
- 16 入会の手続きについて
研修受講履歴登録開始 編集後記

平成30年度
山口県看護協会会員数
2018年12月11日現在

○保健師	480名
○助産師	324名
○看護師	8,854名
○准看護師	661名
合計	10,319名 (加入率:42.6%)

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より山口県看護協会事業にご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。今、少子高齢化の進展による、超高齢化社会の到来に対応すべく、医療・社会保障制度改革として、地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築が進められています。

こうした中、看護職は、住民に最も身近な、地域保健、医療、福祉の専門職として、地域を支える役割を果たすことが求められており、その育成・確保、資質の向上は喫緊の課題です。また、安心・安全な医療・看護提供に直結する看護職の勤務環境の改善にも取り組むことが必要とされています。

このため、本協会は、会員数一万人の看護職能団体として、「地域包括ケアにおける看護機能の強化」を重点事業の柱として、それを支える「看護の質の向上とキャリア形成の推進」「看護職の働き方改革と定着」や「組織の強化」に取り組んでいるところです。

昨年は新たに、地域の実情により即した地域包括ケアの推進に向け、岩国・下関・長門3支部に、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携を図る検討会を設置し、地域課題の抽出とそれに対応した実践者の資質向上を目指す研修等を組み合わせた事業を展開したところです。次年度以降、実施支部を増やしていく予定としています。

看護の「働き方改革と定着」のためには、県「医療勤務環境改善支援センター」と連携し、看護職が勤務する施設へ看護師・社会労務士等が訪問し、WLBインデックス調査を用い、その結果をもとに就業体制等の指導助言を県内2施設で実施しています。今後、事業の成果を踏まえ引き続き実施することとしています。

また、地域社会の看護職への期待に応えるため、県などの関係機関と連携し、地域偏在による産科医師や分娩施設不足に対応するため、基幹病院の助産師が外向先の地域の病院で活躍できる「助産師外向支援導入事業」は3年目を迎え、研修外向に加え応援外向にも取り組んでいるところです。

また、昨年7月豪雨に際し、山口県社会福祉協議会の依頼により光市災害ボランティアセンターへ4日間延8人を救護班として、広島県呉市の2か所の避難所へは、災害協定による「災害支援ナース」を19日間延96人派遣したところです。

看護協会といたしましては、今まで以上に地域社会を支える看護職の役割をしっかりと踏まえながら、会員の皆様とともに歩んで参りたいと思っておりますので、皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、新たな年号を迎える、平成最後の新年が穏やかで素晴らしい年となりますことと会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして年頭のあいさつとさせていただきます。



会長 西生 敏代

受賞者紹介

受賞おめでとうございます

平成30年度 秋の叙勲 心よりお祝い申し上げます。

瑞宝単光章

井上りさ子 氏（徳山医師会病院 前看護部長）

今年の顔

「笑顔を忘れずに」

徳山中央病院
山根 沙恵



あっという間に4月で助産師3年目となります。私が日々心がけていることは、「笑顔」でいることです。新年度になり、外来業務、集団教室、リーダー業務などがスタートし、まだまだ初めてのことがばかりで悩むこともありますが、「笑顔」を忘れずに努力していきたいと思います。笑顔が溢れる家族の支援ができるよう頑張ります。

「元気なあいさつ」

周防大島町立東和病院 松尾 綾



看護師として働き始めて2年目になります。私が大切にしていることは、患者様一人一人にきちんと向き合い、心身共に支えるという事です。そして、患者様と接する時には、笑顔と元気な挨拶を意識しています。まだまだ、経験も浅く学ばなければならない事も多くありますが、患者様・家族の方に向き合い寄り添うことが出来る看護師を目指して頑張ります。

「ON・OFF」

防府消化器病センター
防府青鼻病院
山本 泰三



看護師として12年目、大切にしているのは「ON・OFF」。職場では業務を正確に・的確にこなす。休みの日には120%の家族サービス。生活の上で常にメリハリをつけて今年1年、今まで以上にハッピーな年にしていきたいと思っています。

「一歩づつ…」

山口県健康福祉局長寿社会課
地域包括ケア推進班
橋本 佳子



県の保健師は約3年ごとに異動があり、私も8か所目の職場で、1年目を迎えています。様々な出来事、多くの方々との出会いがありました。「出会えて、よかった」と言われる生き方、誰にどこから見られても恥ずかしくない生き方の大切さと難しさを、48歳の今だからこそ、改めて感じています。出会いを大切に、一歩づつ前にすすむ自分でありたいと思います。

「目指す看護師像」

萩市民病院
齊藤 駿一郎



看護師として10年目を迎えました。現在に至るまで多くの患者様、スタッフとの出会いがありました。その中で様々な経験を積み、患者様に寄り添った看護を行うことの大切さを学びました。これからも、患者様に寄り添い、信頼される看護師になれるように努力していきたいと思っています。

亥

書を書いていただいたのは

下関市立市民病院 救命センター 木原 智行さんです。

「ご利用者に笑顔を」

老人保健施設アイユウ
沼井 律子



総合病院を定年退職後「ご利用者の笑顔大切に」をモットーとして老人保健施設で働き十余年目を迎えます。これからも介護職員、リハビリテーション専門員などの他職種協働に努め、お一人ひとりの思いに寄り添い、ご利用者、ご家族の笑顔が引き出せ、より笑顔が増え、その人らしい生活が続けられるようにサポートしていきます。

「今年の抱負」

岩国市医療センター医師会病院 弥永 由紀



回復期リハビリテーション病棟に勤務し今年で12年目になりますが、いまだに自分の未熟さを痛感する日々です。昨年から今年にかけて、リハビリ看護を一から学び直す機会をいただいています。しっかりとスキルアップにつなげ、より専門性の高い看護を提供し看護の視点から患者のリハビリを支えていけるよう頑張っていきたいと思っています。

「猪突猛進！」

山口大学医学部附属病院 白石 景子



本院は今年6月に新病棟への移転を予定しています。病院整備担当として移転前後で業務の混乱が起こらないよう、標準化など看護関連の調整を行っています。看護の現場は離れていますが、患者の安全に最大限配慮し、移転に伴う職員の負担を軽減することを念頭に、移転までの残り5ヶ月間を走りぬけます。

平成30年7月豪雨災害活動報告

山口県看護協会 教育研修事業課

山口県内災害ボランティアセンターへ看護師を派遣

山口県社会福祉協議会からボランティアセンターへの支援依頼を受け、山口県看護協会では光市災害ボランティアセンターに7月13日～16日までの4日間延べ8名の看護師を派遣しました。

	7/13	7/14	7/15	7/16	計
光市災害ボランティアセンター	2名	2名	2名	2名	8名

広島県呉市へ災害支援ナースを派遣

日本看護協会の災害支援ナース派遣システムにおいて、8月2日、広島県看護協会の対応がレベル2になったことを受けて、山口県看護協会は8月5日～23日までの計19日間、24名の災害支援ナースを広島県呉市天応まちづくりセンターと呉市安浦町づくりセンターへ派遣しました。

	第1班	第2班	第3班	第4班	第5班	第6班	計
	8/5～8/8	8/8～8/11	8/11～8/14	8/14～8/17	8/17～8/20	8/20～8/23	
呉市天応まちづくりセンター	2名	2名	2名	2名	2名	2名	12名
呉市安浦まちづくりセンター	2名	2名	2名	2名	2名	2名	12名

災害支援ナース活動者の意見交換会を開催

日 時：平成30年10月26日（水）13:30～16:30

場 所：山口県看護研修会館 参加者：21名

災害支援ナース派遣者同志の交流も兼ね、意見交換会を実施しました。

今回の活動に関する評価を、次へのステップに活かしていきたいと考えています。

※活動いただきました災害支援ナースの皆様、各施設のご協力に感謝いたします。



災害支援ナースとしての被災地支援を経験して

JA山口厚生連 周東総合病院 木村 直也

「平成30年7月豪雨」において被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

この度平成30年7月豪雨の際に災害支援ナースとして、山口県からの第一陣を担い広島県の避難所での支援活動を行ってきました。自身の被災地支援は今回が初めてではなく過去の派遣から得られた知識を活かしながら積極的に、主体はあくまで被災者の方々、現地支援者の方々という事を念頭に置いて活動させて頂きました。今年は非常に災害が多く、その災害種別も地震、豪雨、台風と様々でした。災害医療は災害種別や介入する時期（フェーズ）によって現地のニーズや活動の方向性も大きく変化します。活動を行いながらも「今の状態で良いか、状況に変化はないか」を広い視野で考えながら活動内容自体を変化させていく必要があります。「正解はない」とされる分野の活動であるために自身の行った活動が正しかったのか、より良い方向はなかったのかと今でも考えさせられます。まだ歴史の浅い「災害看護」に関わるの方々にはぜひお互いの情報発信、情報交換を積極的に行っていただきたいと思いますと考えております。

医師の活動を伴わない災害支援ナースの活動は看護の独自性・特殊性を基にアセスメント能力を活かすことができ、今後の看護観に何か変化をもたらすかも知れません。ご興味のある方は是非災害支援ナースへの登録をお願いします。



委員会活動

平成30年度 広報委員会活動報告

山口県看護協会広報委員 委員長 村上・村田・今田・木倉・増野・小野

私たちは以下の活動目標を掲げ活動しています。

- 1、山口県看護協会報「きらめき」によるタイムリーな情報発信と、内容の充実
- 2、非会員や一般の方の看護協会に対する認知度を上げ、協会員数の増員につなげるための広報活動の推進

主な活動内容は、以下の3つです。

- 1、「きらめき」の3回/年の発行（内容の検討・紙面形式の検討・原稿依頼・紙面の編集、校正・印刷会社との打ち合わせ）
- 2、入会のしおり、ホームページ等の見直し
- 3、県内各地の施設の新たな取り組み等の情報収集



入会のご案内のパンフレット



広報委員会の様子

身近な「きらめき」を目指し、今号から内容や構成を変えました。また、「山口県看護協会の入会のご案内」を新しく作成しました。現在、ホームページの内容を見やすく、活用しやすいものになるようにどうしたら良いかを検討しています。会員の皆様のお役に立てる情報を発信できるようメンバーでアイデアを出し合いながらワイワイ活動しています。山口県看護協会がより充実したものになるように皆様のご意見ご要望を是非お聞かせください。

平成30年度 認定看護管理者教育運営委員会活動報告

認定看護管理者教育運営委員会 委員長 大林由美子

認定看護管理者教育運営委員会では、認定看護管理者教育課程の円滑な運営支援と教育評価、認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備を中心に活動を行っています。

昨今の医療・看護を取り巻く環境の変化に対応すること、多様化する受講者のレディネスや背景を反映しつつ、社会が認定看護管理者に求める能力や役割を身につけられることを方針として、認定看護管理者カリキュラム基準が改正されました。このことを受けて、本委員会では改正カリキュラム基準に則った一貫性のある3課程の教育ができるように、教育内容や方法の検討を行っています。新カリキュラム基準に則った研修は、2019年度から適用となります。



2018年度セカンドレベル研修 演習の様子



2018年10月セカンドレベル研修 修了式の様子

2018年度はセカンドレベル研修およびファーストレベル研修を開講し、それぞれフォローアップ研修の企画・運営も行っています。受講者はそれぞれの立場で、看護管理の視点を養い、視野を広げるとともに、看護観や教育観、管理観を深めています。また、同じ志をもつ者同士のネットワーク、仲間づくりを行い、切磋琢磨しながら、看護管理者としての知識・技術・態度を養っています。

今後も、質の高い看護の提供に寄与できる看護管理者の活躍を願いつつ、認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上に努めて参ります。

選挙についてのお知らせ

2019年度 公益社団法人山口県看護協会役員・推薦委員の選挙について

公益社団法人山口県看護協会では、2019年6月16日(日)に開催の通常総会において、2019年度改選役員・推薦委員の選挙を実施します。つきましては、選挙管理委員会が役員及び推薦委員の立候補の受付を推薦委員会が推薦の受付を行います。

○選挙管理委員会からのお知らせ

山口県看護協会の改選役員・推薦委員の選挙を次のとおり実施いたします。

- 1 改選役員・推薦委員
第二副会長 専務理事 常務理事(庶務担当) 保健師職能理事 全区理事 内部監事 各1名 推薦委員 7名
- 2 任 期 2019年6月16日(日)総会終了時～2021年6月20日(日)総会終了時まで
※但し、推薦委員の任期は
2019年6月16日(日)総会終了時～2020年6月21日(日)総会終了時まで
- 3 立候補受付期間 2019年2月1日(金)～3月31日(日)
- 4 立候補基準
(1) 山口県看護協会の会員で、協会組織を理解している人
(2) 山口県看護協会の理念・目的を理解し、役員としての責務を果たせる人
(3) 山口県看護協会総会に出席できる人
- 5 立候補の届出
立候補される方は、会員5名以上の推薦を受けて、届出用紙を2019年3月31日までに山口県看護協会選挙管理委員長宛に郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(TEL 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒747-0082 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会選挙管理委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)
- 6 選挙期日 2019年6月16日(日)

○推薦委員会からのお知らせ

2019年度山口県看護協会の改選役員・推薦委員候補者について、会員各位におかれましては、該当する方をご推薦下さい。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

- 1 選出人数 選挙管理委員会からのお知らせと同じ
- 2 推薦基準 立候補基準と同じ
- 3 受付期間 2019年2月1日(金)～3月31日(日)
- 4 推薦の届出
推薦される方は、届出用紙を2019年3月31日までに推薦委員会宛てに郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(TEL 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒747-0082 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会推薦委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)

2020年度 公益社団法人山口県看護協会代議員及び予備代議員選挙について

公益社団法人山口県看護協会選挙及び選挙管理委員会に関する規程により、平成2020年度の代議員及び予備代議員の選挙を行います。代議員及び予備代議員の選挙を行うにあたり、代議員及び予備代議員の立候補と推薦の受付を行います。

○選挙管理委員会からのお知らせ

代議員及び予備代議員の選挙を次のとおり実施いたします。

- 1 選出代議員数及び予備代議員数
代議員数は2019年4月20日における各支部の正会員の総数50人につき1人の割合を持って選出いたします。予備代議員数は各支部の代議員数の状況に応じて選出いたします。
- 2 任 期 2019年8月1日～2020年7月末日
- 3 立候補受付期間 2019年2月1日(金)～3月31日(日)
- 4 立候補基準
(1) 山口県看護協会の会員で、協会組織を理解している人
(2) 山口県看護協会の理念・目的を理解し、代議員としての責務を果たせる人
(3) 山口県看護協会総会に出席できる人
- 5 立候補の届出
立候補される方は、届出用紙を2019年3月31日までに山口県看護協会選挙管理委員長宛に郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(TEL 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒747-0082 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会選挙管理委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)
- 6 選挙期日 2019年7月に実施される各支部の支部集会の日

○推薦委員会からのお知らせ

2019年度代議員及び予備代議員の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦下さい。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

- 1 選出人数 選挙管理委員会からのお知らせと同じ
- 2 推薦基準 立候補基準と同じ
- 3 受付期間 2019年2月1日(金)～3月31日(日)
- 4 推薦の届出
推薦される方は、届出用紙を2019年3月31日までに推薦委員会宛てに郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(TEL 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒747-0082 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会推薦委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)

2020年度 日本看護協会代議員及び予備代議員立候補者選挙について

公益社団法人日本看護協会定款及び公益社団法人山口県看護協会の「日本看護協会代議員及び予備代議員選挙規程」に基づいて、立候補と推薦の受付を行います。

山口県看護協会では、日本看護協会の委託をうけて、2019年6月16日(日)の県総会で2020年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出を行います。そのため、選挙管理委員会が立候補の受付と推薦委員会が推薦の受付を行います。

○選挙管理委員会からのお知らせ

日本看護協会代議員及び予備代議員の選挙を次のとおり実施いたします。

- 1 選出代議員数及び予備代議員数
日本看護協会代議員数 10名
日本看護協会予備代議員数 10名
- 2 任 期 2020年4月1日から1年間
- 3 立候補受付期間 2019年2月1日(金)～3月31日(日)
- 4 立 候 補 基 準
(1) 日本看護協会の理念・目的を理解し、1年間代議員として責務を果たせる人
(2) 山口県看護協会会員で、協会組織を理解している人
(3) 日本看護協会総会に出席できる人
- 5 立候補の届出
立候補される方は、届出用紙を2019年3月31日までに山口県看護協会選挙管理委員長宛に郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(TEL 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒747-0082 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会選挙管理委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)
- 6 選 挙 期 日 2019年6月16日(日)

○推薦委員会からのお知らせ

2020年度日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方をご推薦下さい。なお、推薦していただいた方々につきましては、推薦委員会で協議のうえ、候補者として推薦を確定させていただきます。

- 1 選 出 人 数 選挙管理委員会からのお知らせと同じ
- 2 推 薦 基 準 立候補基準と同じ
- 3 受 付 期 間 2019年2月1日(金)～3月31日(日)
- 4 推 薦 の 届 出
推薦される方は、届出用紙を2019年3月31日までに推薦委員会あてに郵送して下さい。
届出用紙は、本会事務局(TEL 0835-24-5790)にありますのでご連絡下さい。
【送付先】〒747-0082 山口県防府市大字上右田2686番地
公益社団法人山口県看護協会推薦委員会委員長宛に郵送(親展・当日消印有効)

第18回 山口県看護研究学会開催

学会テーマ：【地域包括ケア時代の看護の役割】

特別講演：テーマ「拡大する看護の役割」～つながる・ささえる・つくりだす在宅～

講 師：認定NPO法人マギーズ東京 センター長 関ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 統括所長 秋山正子先生

日 時：平成31年3月2日(土)

場 所：山口県看護研修会館(防府市)

秋山正子先生は(株)ケアーズ代表取締役、白十字訪問看護ステーション統括所長、暮らしの保健室室長、NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長、看護小規模多機能型居宅介護「坂町ミモザの家」開設者、認定NPO法人マギーズ東京センター長と歴任され、次々と組織を立ち上げられている方です。

参加者募集中！メ切2月14日(木)当日参加も受け付けます！



山口県看護協会の組織力を強化するため新規会員を増やしましょう！

未加入の保健師・助産師・看護師・准看護師の方にお声かけください。

新規会員拡大にご協力をお願いいたします。

山口県看護協会加入率

	総 数	保健師	助産師	看護師	准看護師
就業者数 (H30.3)	24,200	756	438	16,207	6,799
会員数 (H30.12)	10,319	480	324	8,854	661
加入率	42.6%	63.5%	74.0%	54.6%	9.7%

今年度
目標
11,300人



防府支部の活動紹介



国際助産師の日イベント

「助産師のお仕事写真展&育児応援フェア」を平成30年10月14日イオン防府店で開催しました。

246名のご来場がありました。写真展では幅広い年齢の方の観覧があり、助産師の仕事を知っていただく良い機会となりました。ベビーマッサージ、赤ちゃんの身体測定、妊産婦さんの悩み相談、育児相談では助産師のほかに栄養士、保育士が関わり、多くの親子のご参加がありました。



助産師のお仕事写真展&育児応援フェア

地域包括ケア研修会

防府支部では継続的に地域包括ケアの研修会を実施しています。今年度は平成31年1月19日に「認知症ケアを考える～その人らしい療養生活を送るために、私たちができること」と題して、認知症の理解を深め、認知症状を持つ療養者及び家族への支援を考える研修を計画しています。グループディスカッションを交えて、当地域での課題や、これからの取組みについて考えていきたいと思います。



まちの保健室

看護研究指導

当支部における複数の施設の看護研究グループが、山口県立大学の中谷信江先生にご指導いただいています。平成29年度は看護研究を始めるための基礎知識や研究テーマの見つけ方について研修を行いました。平成30年度はステップアップし、文献検索の方法、研究テーマ決定など、実際に研究を進める過程において助言や情報提供など受けられる研修を行っています。約2年間かけて研究発表まで行えるよう支援しています。



宇部支部の活動紹介

【教育研修会】

平成30年6月9日(土)に山口大学医学部附属病院 診療連携室看護師 大野陽子先生に「退院支援について」をテーマに講義をしていただきました。講義内容としては①医療をとりまく社会背景②退院支援・退院調整③社会資源と3つのカテゴリーに分けて話をされました。

【三職能合同研修会】

平成30年10月28日(日)に整理収納コンサルティングの中村美夕紀先生に「心地よい暮らしのHOWTO～これで貴方もお片づけ美人～」をテーマに講演をしていただきました。講義とグループワークを織り交ぜたラインナップで、楽しい学びの時間となりました。プライベートや職場空間が心地よい空間となるように、と気持ちを新たにできました。

【まちの保健室】

毎月第3土曜日(7月を除く)にゆめタウン宇部で開催しています。健康相談や血圧測定・血管年齢測定等を行っています。最近では80歳以上の方のご来場も増えています。奇数月には山口大学医学部附属病院助産師による育児相談・妊産婦相談を行い、平成30年11月は「いいお産の日」のイベントがあり、手形・足型やパネル展示等が行われました。

また、平成30年12月9日(日)に毎年行われるJA山口宇部農業まつりで、健康相談コーナーを開催しました。



【今後の予定】

毎年2月に看護研究発表会を実施してきましたが、各病院にアンケートを実施した結果、看護研究発表会を中止し、平成31年2月に看護研究に関する教育研修会を実施する予定です。

平成30年度 萩支部の活動紹介



「萩は今、明治維新150周年を迎え、市内でもさまざまなイベントが開催されて大いに盛り上がっています。

【まちの保健室】

年に10回、血圧や体脂肪測定、健康相談、進路相談を行っています。地域の皆様に相談しやすいとっていただいております。

毎年11月に開催される「萩時代まつり」にも参加しています。寒い時期ですが、たくさんの方々が立ち寄って下さいます。

【萩夏まつり救護】

毎年8月1～3日に行われる「萩夏まつり」は1日目に開催される日本海に映る「萩・日本海大花火大会」が有名です。

2日目の市民総踊り「ヨイショコショ」の前に平成30年は、東京ディズニーランドが35周年の年にあたりスペシャルパレードが開催されました。

ミッキーやミニーなど、人気のキャラクターを一目見ようと、子供たちや多くの方が萩に集まりとてもにぎやかでした。

萩支部では毎年「萩夏まつり」の期間の3日間、救護に看護職を派遣しています。



【親睦スポーツ大会】

平成30年8月25日（土）萩ユースボールで親睦会を開催しました。

平成30年度から開催を夏休みに変更して会員・非会員も含め、33名の参加者が親睦し、とても盛り上がりました。（ナイス！ ストライク!!）

【三職能合同研修会】

平成30年11月16日（土）萩市民病院で「株式会社FPオフィス緑」の中村恒瑛先生を講師に迎え、「医療職に求めたい看護取りとは～母の想い実現、看護取り経験から～」をいただきました。

【教育研修会】

平成30年12月8日（土）萩市地域医療連携支援センターで（財）生涯学習開発財団 認定コーチ 初級教育カウンセラーの温品富美子先生を講師に迎え、「人を育て、自分も育っていく」をテーマに講演していただきました。一昨年も温品先生にお越し頂き、大好評でした。今年も楽しみにしています。



支部Information

(1月～3月)

支部名	月日(曜日)	場 所	行 事 名 等	申込み先・問合せ先
岩 国	1月17日(木) 19:00～20:30	岩国市医療センター医師会病院 4階講堂	訪問看護実践研修会「医療介護連携を支える いくつかの連絡帳」の利用	安永 彰子(岩国市医療センター医師会病院 医療安全管理室) ℓ0827-21-3211
	2月3日(日) 9:00～12:00	国立病院機構 岩国医療センター 研修センター	訪問看護実践研修会「生活を分析しない看護(仮テーマ)」	片瀬 智恵(岩国市高齢者支援課) ℓ0827-29-2566
	2月9日(土) 13:00～17:00	国立病院機構 岩国医療センター 研修センター	第1回 3支部合同看護マネジメント研究会	福山 善代(岩国市地域包括支援センター 地域支援部室の木2) ℓ0827-24-3700
岷 井	2月9日(土) 13:00～17:00	国立病院機構 岩国医療センター 研修センター	第1回 3支部合同看護マネジメント研究会	福山 善代(岩国市地域包括支援センター 地域支援部室の木2) ℓ0827-24-3700
	2月9日(土) 13:00～17:00	国立病院機構 岩国医療センター 研修センター	第1回 3支部合同看護マネジメント研究会	福山 善代(岩国市地域包括支援センター 地域支援部室の木2) ℓ0827-24-3700
防 府	1月19日(土) 13:00～16:00	山口県看護協会(看護研修会館)	地域包括ケア研修「認知症ケアを考える」	相澤あつき(山口県看護協会) ℓ0835-24-5790
	3月9日(土) 13:00～15:00	山口県看護協会(看護研修会館)	看護研究指導	
小野田	2月17日(日) 14:00～18:00	不二輪送機ホール (山陽小野田市文化会館)大ホール	住み慣れた地域で暮らそうスマイルシティ山陽小野田 ～在宅医療・介護のこれから～	山陽小野田市高齢福祉課 ℓ0836-82-1149
長 門	2月4日(月) 17:00～19:00	長門市応急診療所	平成30年度長門支部看護研究発表会	花巻 まり(長門総合病院) ℓ0837-22-2220
下 関	1月19日(土) 15:00～16:30	豊田生涯学習センター	地域包括ケアシステム研究会 「地域包括ケアシステムの現状と課題及びこれからの取り組み」	別井 由美(下関市立豊田中央病院) ℓ083-766-1012
	2月1日(金) 18:00～19:30 2月9日(土) 13:30～15:00	JCHO下関医療センター 下関市立市民病院	訪問看護実践研修「患者・家族の思いをかなえる認知支援 ～楽しくつなごう看護連携～」 職能研修会「コーチング」 講師＝一般社団法人トラストコーチング 白澤夢子先生	古本たつ子 (JCHO下関医療センター) ℓ083-231-5811 藤野 裕美 (安福病院) ℓ083-258-3711

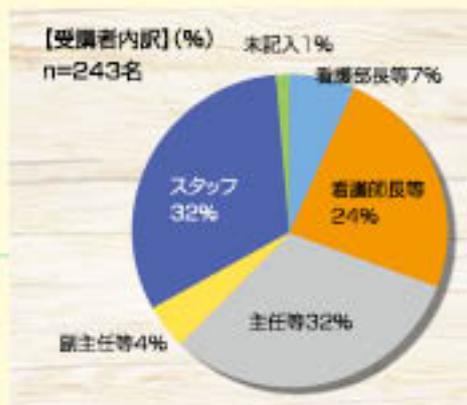
※4月以降につきましては随時ホームページで案内します。

看護職員 認知症対応力 向上研修 実施報告

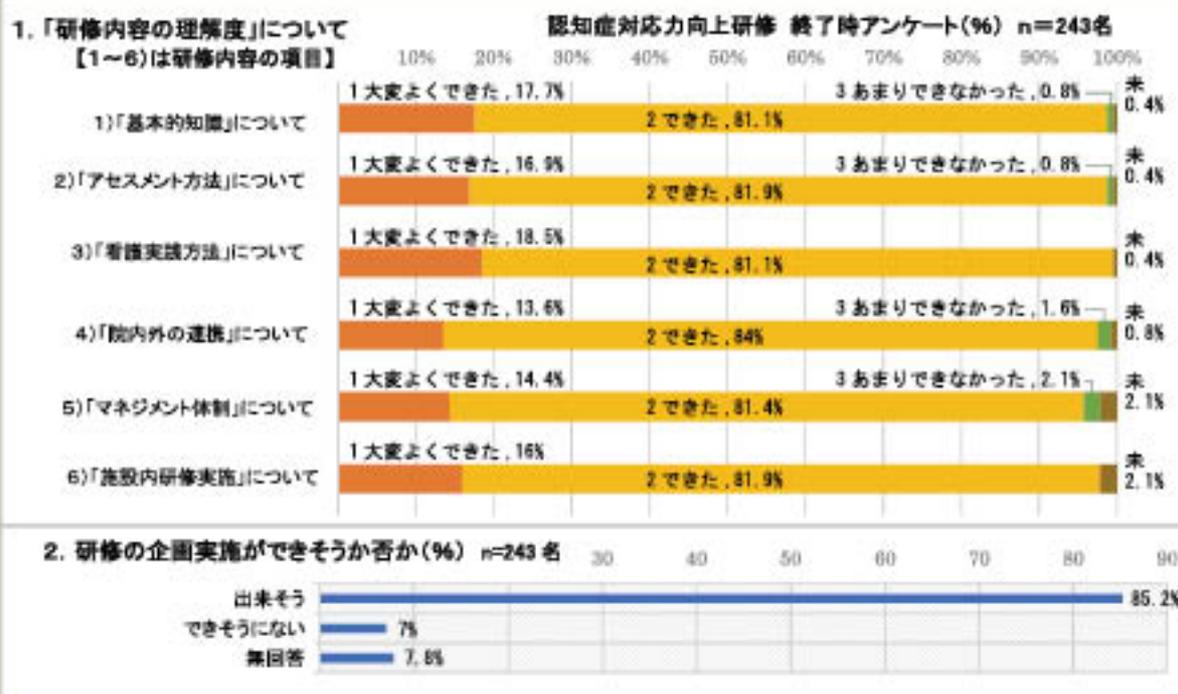
看護職員認知症対応力研修は、厚生労働省の「認知症地域医療支援事業」の一つで、平成28年から計5回、実施しています。目的は、基礎知識や実践力の習得と、自施設の看護職等に伝達し、医療機関内での認知症ケアの適切な実施、マネジメント体制の構築です。認知症ケアの充実に向けた研修の実施報告です。

【研修実施状況】

研修実施期間：
H28年12月～H30年7月
(計5回実施)
受講者総数(研修5回)：243人
受講施設総数：78施設



【研修アンケート結果】
(研修終了時:回収率100%)



【受講者の声】

- ・認知症の基本知識、対応、対応方法、マネジメントについても学ぶことができ、指導、研修開催に向けての自身の役割や動きを知ることができたので良かった。
- ・GWでも他施設の現状や取り組みを知ることができ、認知症看護に対する意欲の向上につながると思う。
- ・GWを通して、研修の企画を具体的に立案することができ、実践に結びつけやすいと思った。
- ・全く基礎から研修を立ち上げるが、GWでスタッフの意識改革を目指す研修企画書を作成したので、自施設にいかしやすいものだった。
- ・自分自身がまず意識を変え、日々の看護に役立てたい。
- ・スタッフを巻き込んで、認知症の方が安心して加療できる病棟、病院を目指していきたい。
- ・マネジメントの構築については、管理者の立場ではないので難しいと思った。
- ・他スタッフの協力が不可欠と思った。・フォローをしてもらえるスタッフがいると心強い。
- ・施設内では 上司や認定看護師に相談支援を受けながらであれば研修企画・実施も行っていけると思う。

【研修アンケート結果(その2)】

(研修終了 6か月後)

【研修目的に沿い、6か月後アンケートを実施】

対象者数： 74施設 183名
回収率： 134名 73.2%

- ・研修後、**受講者の約8割**が、それぞれの施設で研修や勉強会等が企画・実施されています。
- ・研修回数は、看護職全員が受講できるような回数に分けたり、**年間を通して定期的に計画**されたりもしています。

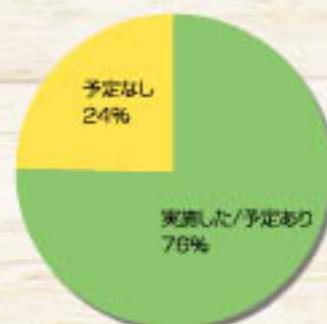
- ・自施設で研修を実施する対象としては、**病院の全看護職**や病棟看護師の他、**介護職や看護補助者**に加え、**医師やPT、OT、ST、薬剤師**も含めた研修を実施されている施設もあります。
- ・その他、**病院併設の老人保健施設等の職員**、**居宅の医療看護職**、**学生**、**地域住民**の方々も対象とされている施設もあり。

それぞれの状況に合わせ、方法や対象者等、工夫され、認知症ケアの更なる充実に向け、奮闘されています。



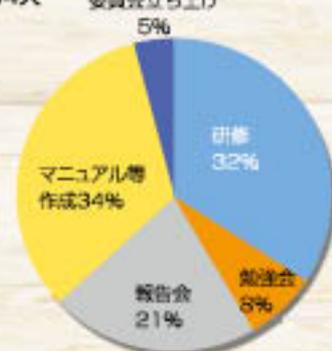
自施設での研修の企画実施状況(%)

n=134人



研修後に、自施設で企画・実施した内容(%)

n=134人



【受講者の声】

- ・研修で学んだ基礎知識、対応、ケアは実践する中で活用できている。
- ・配布された資料を活用して研修（院内）で使用する資料を作成した。
- ・認知症対応力向上研修を受講できたことで、認知症について学習でき知識を得ると共に当院での課題を考える機会となった。
- ・研修は、「マニュアル作成」や「勉強会を計画」するなど、終了後もしっかり振り返ることができ、現場にいかせる内容だった。
- ・認知症を持つ患者に対して、看護援助が必要であるという意識改革から行っている。
- ・認知症については奥深く、対応の仕方等幅広いため、勉強会の実施には苦労した。
- ・業務に追われなかなか研修の実施が出来ていない。
- ・認知症患者への接し方には気をつけているが、意思決定や退院支援については家族や地域との連携の困難さを感じている。
- ・研修後も、継続して対応力向上のための研修の機会があると良い。

携わる一人ひとりが認知症とそれを持つ人の理解を深め
認知症ケアの更なる充実を目指しましょう！



確認ミスを防ごう！

～指さし呼称をしていますか？～

指さして、声を出すことで意識を集中させることができます。
指さし呼称をすると、誤りの確率が6分の1になります。

※指さし呼称をすると、何もしない時と比較して、アクシデントを6分の1以下にできる！！



財団法人医療総合技術研究所：指さし呼称の効果検証実験結果



いつもと何かがちがう！「3つのH」の時は要注意

「3H」とは人間が作業を行う際に、ミスや失敗を起こしやすい状況を簡潔にまとめた標語であり、さまざまな業界で未然防止技術として取り組まれています。

初めて (Hajimete)	<ul style="list-style-type: none"> 初めての場所・経験 初めて会う患者さん 初めて使う医療機器や薬
変化 (Henka)	<ul style="list-style-type: none"> 人と環境の変化（配置換え） 自分（イライラ・憂鬱） 作業の中断
久しぶり (Hisasiburi)	<ul style="list-style-type: none"> 久しぶりにする処置 久しぶりに使う薬 久しぶりの現場

いつもと何かが変わっている時、そんな時に事故は起こります。
このような時には一度立ち止まり、必ず確認をしましょう。

拡大コピー等でポスターとしてもご利用ください。



ナースセンター事業をご存知ですか

ナースセンターとは

ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づいて、1992年に設置されました。

ナースセンターには都道府県ナースセンターと中央ナースセンターがあり、看護職をサポートするためのさまざまな活動をしています。仕事探しから、再就業を支援する研修、仕事上の悩み相談と幅広く支援しています。

現在、ナースセンターでは、無料職業紹介事業などによる看護職の確保への取り組みに加え、**離職時等の届出**を行った看護職への復職支援など、看護職の潜在化予防や離職防止のために、就業相談を強化し、就業定着の促進に取り組んでいます。

離職時等の届出制度とは

保健師・助産師・看護師・准看護師の免許を持ちながら、その仕事に就いていない方に、氏名や連絡先などを都道府県ナースセンターへ届け出ていただく制度です。

都道府県ナースセンターは、届出情報をもとに離職中の看護師等の方とつながりを持ち、それぞれの状況に応じて、復職に向けた研修、無料の職業紹介、相談員によるアドバイスや情報提供等の支援を行います。

【ナースセンターによる支援体制】



届出者への支援について

山口県ナースセンターでは、届け出された全ての方に電話連絡をしています。就業状況や復職の意向などの内容を確認し、それぞれの状況に基づいた支援を行っています。

具体的な支援として、復職の意向がある方へは、無料職業紹介サイト「eナースセンター」への登録をお勧めし、情報提供を行います。必要に応じて、再就業に向けた相談や職業紹介などを行っています。

今すぐには就職する意向がなくても、救護や検診など、1日のみの求人もありますので、ぜひ、ご登録ください。また登録されると、さまざまな情報を受け取り、復職に興味を持ったときに、スムーズなスタートを切ることができます。

その他に、復職を希望している看護職向けの再チャレンジ研修や、看護技術演習を行っています。

看護の現場から離れてしまうと、看護や医療に関する情報を得たり、困ったときに相談できる所が周りになくなってしまいますが、ナースセンターは離職中でも看護職の方とつながりが持てるようにサポートを行い、看護職がいつでも気軽に相談できる場を提供しています。

詳しくは、山口県ナースセンターのホームページをご覧ください。

求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター（無料職業紹介所）をご利用ください。

TEL 0835-24-5791

FAX 0835-28-9688

e-mail yamaguchi@nurse-center.net

eナースセンター（無料職業紹介サイト） <https://www.nurse-center.net/nccs/>

とどけるん（看護師等の届出サイト） <https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

「“地域”の中での 看護の魅力を伝えたい」

山口県立萩看護学校 校長 酒井 恵子さん

profil

趣味：書道、太極拳（肩こりが解消しました！）
最近ハマっていること：最近購入した調理器具で燗製、
グリル料理など新しいジャンルの料理に挑戦中！
ストレス解消：料理、お菓子づくり



山口県立萩看護学校の職員の写真。
前列左から3番目が酒井さんです。

教育現場の保健師として

私には向いてないのでは、と思う一方で、「また教育現場で仕事ができる」といううれしさもありました。私にとっての教育現場は学生さんの成長を支援し見守る中で、自分自身も看護の本質や基本に立ち返って、振り返る機会となり、成長させてくれるところだと思っています。

在宅医療の充実や地域包括ケアシステムの推進に向けて看護職に求められる役割も、地域に広がっています。学生さんには地域での看護の魅力をしっかり伝えていって、地域に関心を持ってもらいたいと思っています。

仕事で印象に残っているできごと

保健所に勤務していた頃に、医療従事者からの結核の発症がありました。感染拡大防止のために長期にわたり、かなり大がかりな対策を行うことになりましたが、幸い感染規模は最小に留まり安堵しました。そのとき担当として働く中で感じたことは、担当が一人ではできないことは少ないけれども、組織みんなの力を合わせれば、何とかなる、と思えたことです。

仕事をする上での元気の源

月並みですが、関わってきた人たちの笑顔にふれたり、感謝の言葉をもらったりすること。そして、みんなで一つの仕事をやりきった時の充実感も仕事を続けていくモチベーションを高めています。今は後輩が成長する姿、達成感を感じている姿を間近で見ることが、自分のことのようにうれしいと感じます。

また、休日は自分が好きなことをして、ゆったり過ごすなど、プライベートを充実させることでしょうか。

後輩へのメッセージ

仕事をする上で、失敗したり躓いたりすることもいろいろあるかと思いますが、あまり自分を追い込まず、「これからどうするか」未来に向けて考えていくようにすることが大事。私の場合、「一脱履たら立ち直る」をモットーにしています。

これまで、いろいろな部署で仕事をしてきましたが、つらい経験も乗り越えれば大きな自信につながるし、対処方法も学ぶことができます。

職場の仲間からひとこと

見たままのおしゃれでかわいい、年齢不詳の方です。いつも笑顔で相談しやすい方なので、何かがあると、しょっちゅう校長の執務室に来ています。私たち熱い教員の思いを、まずは受けとめて聞いてくださり、クリアに整理して返して下さるので「なるほど」と胸に落ちていきます。看護行政の経験も豊富で、教員がやりやすいように導いて下さるので安心して相談できます。

インタビューを終えて

教育現場のご経験を中心にたくさんのお話しをお聞きしました。お話しやお人柄にすっかり魅了され、仕事への真摯な向かい方、考え方は、まさに「しなやか」そして「ポジティブ！」という言葉がぴったりな方でした。違和感けれども、ぶれない軸をもっていらっしゃる。私たち後輩に勇気と元気をいただいた貴重な時間となりました。ありがとうございました。

支部職能委員（石川）・県職能委員（佐野）



当校は、昭和27年に准看護婦養成所として開設後、何度かの変遷を経て、医療専門課程看護課（3年課程）として19年目を迎えた周南医療圏唯一の看護師養成所です。2014（平成26）年6月には体育館が完成し、体育の授業以外にも、バレーボール等、学生たちが自主的に課外活動を行える環境も整っています。1学年の定員は70名。推薦・一般・社会人入試により入学した学生たちは、年齢差こそあれ助け合いながら学校生活を送っています。

入学して半年が過ぎた9月27日、看護師になるという思いを新たに、19期生66名の戴帽式を行いました。先輩たちや保護者の方々の見守る中で行われた厳かな儀式は、学生たちの胸にいつまでも残ることと思います。

10月27日には、「輪～広げよう、思いやりと助け合いの心～」をテーマに、恒例の学校祭「徳風祭」を開催しました。学生たちが主体となって企画・運営し、模擬店では、炊込みご飯や豚汁、



唐揚げ、焼き鳥、フライドポテト等々、日ごろ慣れない腕を振るい、参加された地域の方々と共に、楽しく充実した一日を過ごしました。



看護教育は今、多くの課題を抱えています。医療の現場が病院から在宅へシフトしていこうとしている現在、看護教育も様々なことを念頭に対応していかなければなりません。徳山看護専門学校は、地域を意識し、地域に必要なとされる人材を育てることに力を入れています。自由奔放で天真爛漫な学生たちを相手に、教職員一同、体力の続く限り奮闘している毎日です。

受講者の声

山口県実習指導者養成講習会を受講して

山口県済生会豊浦病院 林 勝利

看護学生が、実習の中で効果的に学びを深め看護観を育んでいくために、実習指導者の存在はとても大きいと考えます。重要な存在である反面、その役割に悩む看護師も多いのではないのでしょうか。実は私も、自分の指導力不足を実感した事がきっかけでこの講習会への参加を決意しました。私たち受講生はそれぞれの施設での役割・課題達成のため7月20日から11月16日までの約4ヶ月間に渡り、看護教育における実習の意義や実習指導者としての役割について学ぶことができました。

私が学生への指導方法でとても大切だと思ったのは「発問」です。発問とは単に質問するのではなく相手に考えさせる問いかけの事で、学生が学びを深める上でとても重要な手法です。また、看護学生への実習指導の中で、3観(教材観・学生観・指導観)を明確にしておく事の重要性を学びました。さらに、親の勤めや手に職を持ちたいといった動機で看護師を志望する学生も増えている情勢の中、患者との関わりの中で看護の喜び・やりがいを感じてもらい成功体験を重ねてもらえるように学生と関わっていく事は指導者の重要な役割だという事を学ぶ事が出来ました。仲間とともに講習会で学んでいく中で、看護の素晴らしさを伝えていける指導者でありたいと強く感じました。この講習会で得た知識、そして仲間への存在は私の大切な宝物です。今後は受講生一同、この講習での学びを活かし、次世代の看護師育成に尽力していきたいと思えます。





入会手続きについて

継続のお知らせ



11月に届いた
「継続のお知らせ」
内容について

変更あり

変更なし

「会員情報変更届」を本協会へ送付・持参
または下記私書箱へ送付

「会員情報変更届」の提出不要

ただし、口座に不備がある方や、会費納入方法を「口座振替」に変更する方は、提出が必要となりますので、ご注意ください。休職（産休・育休等）及び異外移動の方は会費保留届けを、退職等で2019年度入会されない方は退会届をご提出ください。特に口座振替の場合は12月20日までにお知らせください。3月末まで研修等で会員証が必要な場合は退会届けに貼付する会員証の返却は4月以降で構いません。

施設の代表者様はお手数ですが、会費納入の際には、会員個々の会費の納入について会費納入対象者一覧に記入しお知らせいただきますようお願いいたします。（FAX可）

新加入または再加入の方につきましては、2019年度用（ピンクの印字）の入会申込書でご提出いただけますようお願いいたします。不足の場合はご請求ください。

〒206-8790

日本郵便株式会社 多摩郵便局 私書箱第21号

公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会 会員登録事務局 宛

キャリアナースへの

「一般教育研修の研修受講履歴登録」開始しました。 受付時とお帰りの際にタブレットに会員証をお通し下さい。

平成30年度から、一般教育研修（8割以上の出席）を受講された方は、キャリアナースに受講履歴の自動登録をしております。個々の様々な場面で、必要に応じてご利用下さい。

＊キャリアナースを利用するために、山口県看護協会及び日本看護協会HP上「キャリアナース」のところからご登録ください。

研修受付、終了時、会員証をタブレットに通して頂くようになります。必ずご持参下さい。

研修受講された方は登録
しています。

注）8割以上受講されても、途中退席され、1階窓口にお立ち寄りでない場合は、登録できませんのでご了承ください。



編集後記

★会報についてご意見等（掲載を希望される記事等）ございましたらご連絡ください。

総務課：TEL (0835) 24-5790 FAX (0835) 24-1230 E-mail:koho@y-kango.or.jp

★新しい年がはじまりました。きらめきもさらに、よりよい会報を目指します。

(広報委員)